

CM方式活用協議会議事概要

日 時：平成19年11月5日（月）13：00－14：30

場 所：弘済会館4階「萩」

出席者：石井良昌、上久保幸雄、梅田巖、大森文彦、岡正信、小澤一雅、絹川治、小林将志、齋藤明（代理：重田誠紀）、塩川修（代理：成田武志）、白石孝誼、鈴木一、鶴田信夫、萩原幸夫、古阪秀三、中島正弘、前川秀和、澤木英二、吉田光市、石崎仁志（敬称略）

○メンバー紹介後、規約を承認し、大森文彦氏を全会一致で座長に選出。

○事務局から一括して議事内容を説明。

（質疑応答）

- ・CM方式実施目標件数を設定すべき。
- ・土木と建築の相違に留意すべき。
- ・CM／PM方式とあるのはCM方式で統一すべき。
→ 指摘を踏まえてCM方式で統一することとなった。
- ・CMRに対してもアンケートをしてはどうか。
- ・アンケート対象に地方独立行政法人を含めてはどうか。
- ・アンケート調査に、複数年度での量的変動、技術者の年齢構成、インハウス教育の状況、工事だけでなく事業全体、技術者の配置状況等を調査すべき。
- ・団体内でも部署によって状況は異なるので留意すべき。
- ・市町村の理解度はまちまちなので、それに配慮した調査にすべき。
→ 事務局においてアンケート調査票を修正の上、メンバー各位に照会することとなった。
- ・同種工事の発注が体制の程度により差がでてくるかシミュレーションすべき。
- ・CMRの資格、約款については今後の課題。
- ・土木と建築で顕著な相違があり、資格の創設は慎重に検討すべき。
- ・CM方式による分離分割発注に期待。
- ・専門工事業者の大部分はCMに賛成。
- ・発注者支援のCMならよいが、コスト合理化や分離分割発注のためのものにすることは反対。

○ホームページの開設と次回協議会の予定（12～1月）を確認して閉会。